

# 情報技術科 PR 活動

研究者：北嶋 遥、森 星也、森 優貴

## 1 はじめに

中学生に対して来年度の情報技術工学科を PR するポスターや動画、アニメーションを制作した。新しく生まれ変わる情報技術工学科について興味をもってもらい、より多くの新生が入ってくるような PR をすることが目的である。

## 2 研究内容

### (1) ポスター作成

夏休みの高校説明会や 10 月の中学生 1 日入学などで掲示する、学科の PR をするポスターを作成した。また、自らの実力を伸ばすためにポスターコンクールの応募作品も作成した。

作成には ibisPaint というアプリケーションを使用した。フィルター加工や、エフェクトを使うことができ、通常のイラストが明るく、鮮やかに作成することができた。

### (2) 動画制作

夏休みの高校説明会に参加した中学生に情報技術工学科について興味を持ってもらえるように情報技術科の 3 年生を対象としたインタビュー動画を制作した。高校生の生の声を聞くことができ、実際の映像を見たり実体験を聞いたりしながら学科の概要を知ることができるため、より印象に残りやすいと考えた。

### (3) アニメーション制作

10 月の中学生 1 日入学に参加する中学生に対して、情報技術工学科の PR を行うアニメーション「THE LIFE」を制作した。物語の内容は、情報技術工学科に入学した情報系大学への進学を目指す女子生徒と、IT 企業への就職を目指す男子生徒がそれぞれの苦難を乗り越え夢を叶えることができたというものである。Official 髭男 dism 様の「宿命」という楽曲を使用させて頂き、それに合わせたアニメーションを制作した。制作はシナリオ考案、絵コンテ、線画、配色、編集、修正の順で行った。

## 3 研究過程

- 4 月～ 計画書の作成、コンクールへ向けた作品の作成  
高校説明会で公開する動画の構成
- 6 月～ アニメーションの構想・楽曲決め  
動画の方針決定  
ポスター作成・キャラクターデザイン  
絵コンテの作成
- 7 月～ 動画の撮影・編集

アニメーションの制作

- 10 月～ アニメーションの細部確認
- 11 月～ 文化祭に向けたポスターの作成
- 12 月～ レポートの作成
- 1 月～ 資料の作成と発表

## 4 研究成果

### (1) ポスター

コンクールや、情報技術科の PR に向けたポスターを作成した。ポスターはコンポジション（構図や構成）、文字の大きさや位置などで見え方や伝わり方が変わるのでと理解した。

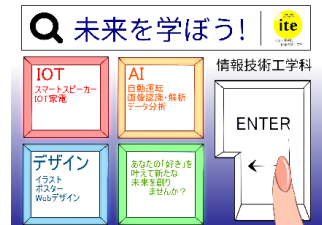


図 1 学科群・学科ポスター

ポスターコンクールの結果として、日本国際ポスター美術館主催 第 18 回全国高校生ポスターコンクール/テーマ「祭」では入選、愛知県印刷工業組合主催 第 10 回ポスターグランプリ/テーマ「輪」では特別賞・岐阜県教育委員会賞を受賞することができた。



図 2 入選・特別賞を受賞した作品

## (2) インタビュー動画

当初、プレゼン動画を制作した。しかし、最初に制作した動画は情報量が多く、効果的な動画とは言えなかった。そこでインタビュー動画に路線変更をすることにした。

編集では、Adobe Premiere Pro CC 2018 を使用し、高校説明会を訪れる中学生に対して公開する動画を制作した。内容は情報技術部の活動、課題研究、デザインの学習やセンター入試の対応もできるということである。親近感を覚えてもらうために学年と氏名のほかに、出身中学校のテロップを画面右側に挿入した。



図3 インタビュー動画

## (3) アニメーション「THE LIFE」

全てを1から考案し作画枚数468枚、2分19秒の完全オリジナルアニメーションが完成した。

シナリオを考案する際、情報技術工学科の魅力や日常を伝えつつ、自分の力で夢を叶える物語にしたいと考えた。学科PRではあるが、夢は自分の力で叶えるということを強調したかった。また、情報技術工学科への入学は、夢を叶えるための道の途中であり、「THE LIFE」には自分の人生をどう歩むか考えて欲しいという想いを込めた。

編集には、Adobe After Effects CC 2018 を使用し、作画を終えたものから順に編集を行った。他にも光や降雪などのエフェクトの追加、3D機能を利用した編集も行った。

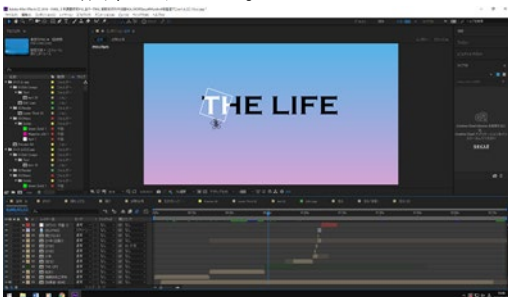


図4 アニメーションの編集画面

無事に完成し中学生1日入学の時に公開することができた。その後、先生方やクラスメイトからの意見を参考に表現や人物の動きなどの修正、シーンの追加などを行い、文化祭展示用のアニメーションを制作した。



図5 アニメーション「THE LIFE」

## 5 考察

今回の研究ではポスターの作成や動画の編集など、研究者それぞれの得意な分野を生かしたPR活動ができた。一方で、それぞれが独立したことをしていたために、知識に偏りができてしまったことが反省点である。

## 6 まとめ

### (1) 成果

情報技術科のPRというテーマのもと、動画やアニメーションの制作や、ポスターの作成など様々な方法でPR活動を行うことができた。

アニメーションを上映した際は、興味を持ち、見入っている中学生の姿もあり、その後のアンケートにアニメーションについて学びたいと回答してくれた中学生もいた。

### (2) 課題

ポスターを作る際に、誰に向けたポスターなのかを明確にしていなかったことで何度も指摘を受けた。インタビュー動画では、見やすい構図がまだわかっていない。これらのことはとても重要だが、今回の研究では疎かにしてしまった。誰に向けてどんな作品を作るのかを最初に設定すること、誰にでも見やすい表現をすることを意識して作品を作ることが課題である。

## 7 感想

### [北嶋 遥]

アニメーション制作は初めてなので、しっかり完成させられるか不安だったが、チームで協力して形に出来たので良かった。自分の役割を果たし、楽しみながら作成することができ、達成感があった。

### [森 星也]

今回、アニメーションやポスターを作ってみて、一人では何もできないと実感した。いろいろな作品を完成してみて、この課題研究を通して学んだ技術と知識を自分の将来にいかしていきたいと思った。

### [森 優貴]

動画やアニメーションの制作の知識がない状態からのスタートでとても苦労したが、貴重な体験だったため楽しくでき、達成感があった。